

5月

な・め・し通信

R6. 5. 26 校長 栗山 幸彦



全力前進で 最後まで あきらめなければ よかばい

直前まで微妙な天気予報が続いて気をもみましたが、ふたを開けると「曇り時々晴れ」で、暑すぎず、絶好の運動会日和となりました。連休後の3週間、子供たちも職員も全力で取り組んできたので、お天気も味方をしてしてくれたのかなと感謝の気持ちです。参観されていかがだったでしょうか。「かけっこ・短距離走」に出場した全員が、1番になれなくても、あきらめずにゴールまで駆け抜けました。1年生の「チェッコリ玉入れ」、2年生の「ダンスホール」、3年生の「ペコリナイト」、4年生の「ピンクレディ」、5年生の「ソーラン節」、6年生の「リレー」と、精いっぱい演技をする子供たちを見て胸が熱くなりました。特に、応援「心を一つに」は、リーダーの6年生とアシストの5年生が、全力で運動会を盛り上げようとする姿に感動しました。また、保護者の皆様のご協力にも感謝です。朝7時過ぎから、おやじの会の皆様がテント設営を手伝ってくださったり、育友会の皆様が会場の見回りや清掃、広報誌の写真撮影などをしてくださったり、閉会後もたくさんの保護者の方がテント撤去やサッカーゴール設置など、最後まで後片付けをしてくださったりしました。主役である子供たちと、それを支える大人が一つになって作り上げた運動会でした。

すばらしい運動会を終え、子供たちに伝えたいことがあります。それは、「運動会が目的なのではなく、運動会への取組を通して成長することが目的」だということ。これからの頑張りをしっかりを見ていきたいと思えます。

清書（運動会）

六年生のみんなたちが軸になって
ゴミのない体育会を築いたことを
どうか 一生涯 忘れてくれるな
だが みんなたちよ
きょうの体育会は立派であったが
きょうは清書ではないんだ
清書は
あすからのみんなのくらしだ
あすからの学校での 勉強
家でのくらしの がんばり
学校での行き帰りの在り方
それが清書になるんだということ
どうか 忘れてくれるな

東井義雄